新しい本のしょうかい

「こどもにすすめたい本２０２５」（山梨県立図書館、山梨県公共図書館協会）より

作　品	作／絵／訳	発行年	出版社
いえができるよ	バイロン・バートン／さく なかがわちひろ／やく	2024	好学社
おせち	内田有美／文・絵　満留邦子／料理 三浦康子／監修	2024	福音館書店
じゅんばんじゅんばんじゅんばんですよ	accototo ふくだとしお＋あきこ／作	2024	大日本図書
たいせつなたまご	キッチンミノル／著	2024	白泉社
だっこだっこらっこ	ねこしおり／文　植垣歩子／絵	2024	アリス館
たれてる	鈴木のりたけ／作	2024	ポプラ社
なっちゃんがちっちゃかったころのおはなし	鍋田敬子／さく	2024	福音館書店
なんのくるまにのるのかな？	小輪瀬護安／さく	2024	福音館書店
にじ	武田康男／監修・写真 小杉みのり／構成・文	2024	岩崎書店
りんごりらっぱ	あべけんじ／作	2024	福音館書店

1．家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2．我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。
3．家族で話し合って読む本を決めよう。
4．ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5．年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6．我が家の家読の記録を残そう。
7．家族の読書体験を語ろう。
8．家庭文庫を作ろう。
9．図書館に行こうデーをつくろう。
10．家読の輪を広げよう。

うちどく．Com より

◆令和７年12月
◆発行　山梨県教育委員会社会教育課
〒400−8504 甲府市丸の内１丁目６番１号　TEL 055-223-1772
https://www.pref.yamanashi.jp/shougai-gks/
山梨県教育委員会「しなやかな心の育成プロジェクト」 社会教育課の取組はこちらから⇒

令和７年度版
乳幼児向け

山梨県教育委員会
しなやかな心の育成プロジェクト

みんなで家読

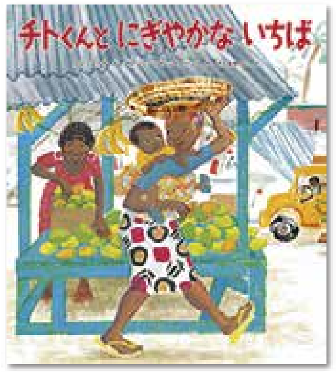
うちどく

家族みんなでお家で読書

毎月第１日曜日（家庭の日）と第３日曜日（青少年をはぐくむ日）を
家読（うちどく）デーとして、家族そろって読書をしましょう。
読書きっかけに、家族のコミュニケーションを豊かに！！

リストの見方

- 1 作品名
- 2 作者名
- 3 出版社名、発行年
- 4 家読をするときのヒント



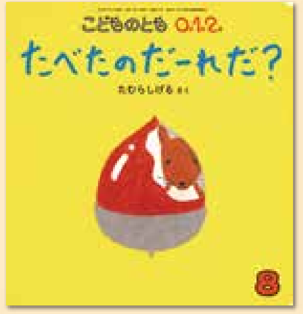
1 **チトくんとにぎやかないちば**
2 アティヌーケ／文
アンジェラ・ブルックスバンク／絵
さくまゆみこ／訳
3 徳間書店 2018 年
4 市場にやってきましたチトくんとお母さん。チトくんは、アデさんからバナナを６本もらい、１本モグモグすると・・・。

きんぎょが　にげた
五味太郎／作
福音館書店 1982 年
あれあれ、金魚鉢からきんぎょがにげた！どこへ行ったかな？さがす楽しみ、見つける楽しみをごいっしょに。

もこもこもこ
たにかわしゅんたろう／さく
もとながさだまさ／え
文研出版 1977 年
ことばの楽しみと色と形の楽しみ。お子さまといっしょに不思議な世界をじっくり味わいましょう。

わらべうたでひろがるあかちゃん絵本（全３巻）
『ねーずみねーずみどーこいきゃ？』『へっこぷっとたれた』『おせんべやけたかな』

こがようこ／構成・文
降矢なな／絵
童心社 2018 年
赤ちゃんをひざに乗せて、ふれあいながら、わらべうたを楽しんでください。口ずさむだけで赤ちゃんもニコニコ顔になってきますよ。

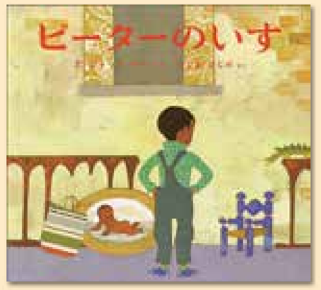


たべたのだーれだ？
たむらしげる／さく
福音館書店 2021 年
食べ物に開いた穴の中にだれかいますね。「たべたのだーれだ？」と、あてっこしながらページをめくるととても楽しいです。

ごめんなさい！だいじょうぶ！

ルイス・スロボドキン／さく
こみやゆう／やく
出版ワークス 2020 年
「ごめんなさい」が言えない、ウィリー。おまわりさんに会い、あることを教えてもらいました。ウィリーはどんなことを教わったのでしょう。

きょうはなんのひ？
瀬田貞二／作
林明子／絵
福音館書店 1979 年
まみこが書いた手紙を次々にさがすおかあさん。10 通の手紙を並べてみると・・・。家族に手紙を書きたくなる一冊。

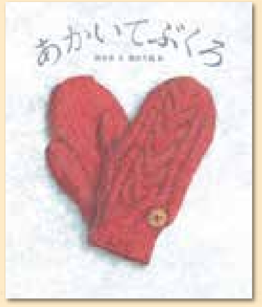


ピーターのいす
エズラ・ジャック・キーツ／さく
きじまはじめ／やく
偕成社 1969 年
ピーターの両親は生まれたばかりの妹に夢中。そこでピーターは家出。新しい家族を迎えた子どもの成長を描きます。

はじめてのおつかい
筒井頼子／さく
林明子／え
福音館書店 1977 年
はじめておつかいをたのまれたみいちゃん。ハラハラドキドキ！牛乳をちゃんと買ってこられるかな？

くんちゃんのだいりょこう
ドロシー・マリノ／文・絵
石井桃子／訳
岩波書店 1977 年
くんちゃんの子どもらしい日常を二色刷りのやわらかい絵で描きます。くんちゃんを見守る両親がすてきです。

ぼくは犬や
ペク・ヒナ／作
長谷川義史／訳
ブロンズ新社 2020 年
関西弁でしゃべる犬の「グスリ」。「グスリ」と人間家族の生活はおもしろいことばかり。犬になった気分で読んでみましょう。

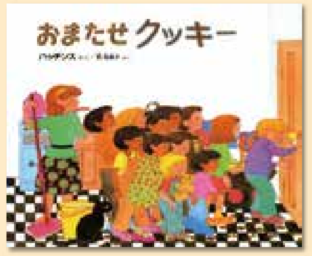


あかいてぶくろ
林木林／文
岡田千晶／絵
小峰書店 2021 年
ちびちゃんがお母さんに編んでもらった赤い手ぶくろ。右手だけなくしてしまいます。きつねが見つけて枝にかけて・・・。

ともだち
くすのきしげのり／作
よしむらめぐ／絵
小学館 2022 年
お隣に引っ越してきた男の子にあいさつをしても、両手の人差し指を曲げるばかり。友だちになれるのでしょうか。

どろんこハリー
ジーン・ジオン／ぶん
マーガレット・ブロイ・グレアム／え
わたなべしげお／やく
福音館書店 1964 年
お風呂が大嫌いなハリーが家を逃げ出して・・・。ハリーの生き生きした表情が文句なしに楽しい絵本です。

もじもじこぶくん
小野寺悦子／ぶん
きくちちき／え
福音館書店 2019 年
とてもはずかしがりやのこぶくんが、アイスクリームを買いに行きます。ほしいアイスを買うことができるのでしょうか。



おまたせクッキー
パット・ハッチンス／さく
乾侑美子／やく
偕成社 1987 年
おやつのクッキーを食べようとすると、友だちがどんどん来てクッキーが足りない！そこへおばあちゃんが・・・。

保護者の方へ

乳幼児期は読み聞かせの体験から始まります。言葉を学ぶだけでなく、保護者の声や抱かれた肌のぬくもりを通して愛情を感じ取り、情緒の安定を得るとともに、その楽しさを読み手と共有することで、非言語のコミュニケーション能力を身に付けていく効果があります。そして、成長するにつれ、物語の中の主人公と自分を重ねて楽しむ読書から、主人公と自分を分け、物語を客観的に見つめる読書になっていきます。やがて、読書体験と自分の実体験とを照らし合わせ、比べたり、重ねたりすることで、自分の知識や経験が社会の中でどのような意味をもつのか等を理解することになるでしょう。

山梨県子ども読書活動推進実施計画（第４次）より抜粋